

第1回浜田市総合振興計画審議会 会議録

日時 令和5年7月27日(木)
午後6時30分～午後8時20分
場所 浜田市役所(4階)講堂

[進行/会長]

◆ 開会	
会長	<p>定刻になりましたので、只今から令和5年度第1回「浜田市総合振興計画審議会」を始めさせていただきます。</p> <p>議事進行は会長を務めさせていただいております、私、林が進めてまいります。よろしくお願いいたします。</p> <p>さて、本日は、お忙しいところをご出席頂きまして、誠にありがとうございます。</p> <p>本審議会は、総合振興計画、定住自立圏共生ビジョン、まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗管理について審議することとしております。</p> <p>本日は、「後期基本計画」、そして「定住自立圏共生ビジョン」の初年度となります令和4年度の進捗状況についてご意見を伺うこととしております。終了予定時刻は午後8時00分までを予定としておりますが、委員の皆様のご忌憚りの無いご意見をいただきますよう、よろしくお願いいたします。</p> <p>また、昨年度から皆様のご了承をいただき、実施しております会議の録画と限定での配信につきまして、本日も実施させていただいておりますので、ご承知おきください。</p> <p>それでは、開会にあたり久保田市長よりご挨拶をいただきたいと思っております。</p>
市長	<p>浜田市長の久保田でございます。</p> <p>令和5年度第1回浜田市総合振興計画審議会の開催に当たりまして、一言ご挨拶を申し上げます。</p> <p>林会長をはじめ、審議会委員の皆様方には大変暑い中、そして、お忙しい中、ご出席を賜り、誠にありがとうございます。</p> <p>浜田市総合振興計画審議会の委員の皆様におかれましては、市の重要な計画であります「浜田市総合振興計画」、「浜田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」そして「定住自立圏共生ビジョン」の策定から関わっていただき、進捗状況に対しましても、毎年貴重なご意見をいただき、心より感謝いたしております。</p> <p>本日の審議会では、令和3年度に策定しました「後期基本計画」の初年度となります令和4年度の進捗状況についてご審議いただきたいと考えております。</p> <p>後期基本計画では、基本構想にもあります7つの大綱に沿った各部門で、具体的な事業、施策に取り組むこととしております。人口の推移で見ますと、出生数は残念ながら予想を上回るスピードで減少を続けており、「人口ビジョン」の人口推計を上回るスピードで人口減少が進んでいる状況であります。</p> <p>今後はポストコロナにおける現状などもしっかり把握しながら、引き続き人口減少対策を最重要課題として取り組んでまいります。特に若者の人口減少に重点を置き「若者が暮らしたいまちづくり」を中心とした施策に力を入れ、今、お住まいの若者世代の皆さん、そして市民の皆さんに「住んでよかった」と感じていただける施策に取り組んでまいりたいと考えております。</p> <p>本日は、取組状況や今後の取組について、忌憚のないご意見を頂戴したいと</p>

	<p>思いますので、どうぞよろしくお願いいいたします。</p>
会長	<p>久保田市長ありがとうございました。 それでは、本日の委員の出席状況等を事務局からお知らせ願います。 あわせて、配付資料の確認も願います。</p>
政策企画課長	<p>委員の皆様ありがとうございます。 事務局を担当しております、地域政策部政策企画課の岸本と申します。 よろしくお願いいいたします。 ここで本日の委員の出席状況のご報告と、配布資料の確認をさせていただきたいと思えます。 まず初めに、今年度に入りまして、一部委員の方の交代がございましたので、この場で報告させていただきます。 資料のうち、審議会委員名簿をご覧いただければと思えます。 この名簿のうち、浜田市PTA連合会会長 湯浅弘一様、そして、浜田市情報化推進協議会委員 佐々木大輔様、以上のお二方に新たにご就任いただいております。 湯浅委員、本日よろしくお願いいいたします。 (湯浅委員) よろしくお願います。 なお、佐々木委員は本日ご欠席ということで、承っております。 次に、委員名簿の記載の団体職名の訂正がございますので、ご報告させていただきます。 委員名簿の9番目に記載の、森脇委員について、職名を一般社団法人浜田青年会議所理事長としておりましたが、現在は監事とのことですので、ここで訂正をさせていただきます。申し訳ございませんでした。 続きまして、本日の欠席についてご報告いたします。 名簿上から、樫山委員、金坂委員、それから、坂田委員、岡山委員。そして先ほどご紹介しました佐々木委員の5名については、本日欠席のご連絡をいただいております。 そして、もうひとつ方、欠席ではないのですが、川神委員から10分、15分程度遅れるということ、先ほどご連絡をいただいております。 以上によりまして、20名となりまして、本日の審議会は浜田市総合振興計画条例第5条第2項の規定によりまして、定足数が委員の過半数となっておりますので、成立しておりますことをご報告いたします。 続きまして議題に入ります前に、資料の確認をさせていただきます。 本日委員の皆様には、会議資料として事前にお送りさせていただきましたが、皆様ご持参いただいておりますでしょうか。 ありがとうございます。 事前にお送りさせていただいた資料は、資料1から5、そしてナンバーがない、参考資料というものを1つつけております。 これらに加えまして、本日追加資料として、本日の配席表、それから資料6、「代表的な目標の見直しについて(案)」というもの、A4横長のものです。 そして事前に委員の皆様には、質問ご意見等を、もしあればということで頂戴しております。 こちら事前いただいた質問等を、一覧にしたもの、「総合振興計画、定住自立圏共生ビジョンの進捗に対する意見」というもの、以上の3点を皆様の机の</p>

	<p>上に置かせていただきました。</p> <p>また足りない資料がございましたら、その場で結構ですので、お声掛けいただけたらと思います。</p> <p>以上となります。</p>
1 議事	
<p>(1) 総合振興計画、定住自立圏共生ビジョンの進捗管理体制について</p> <p>(2) 第2次浜田市総合振興計画後期基本計画の進捗管理方法について</p> <p>(3) 第2次浜田市総合振興計画後期基本計画の進捗評価について (案)</p> <p>(4) 第2次浜田市総合振興計画後期基本計画及び浜田市定住自立圏共生ビジョンの進捗状況について</p>	
会長	<p>それでは、議事を進めてまいります。皆様のご協力をお願いします。</p> <p>まず、議題(1)総合振興計画、定住自立圏共生ビジョンの進捗管理体制について、事務局から説明をお願いします。</p>
政策企画課長	<p>続いて、事務局より説明させていただきます。</p> <p>議題(1)総合振興計画、定住自立圏共生ビジョンの進捗管理体制について、こちら資料1をご覧ください。</p>
資料1 説明	<p>この審議会では、総合振興計画後期基本計画と定住自立圏共生ビジョンの検証に対するご意見をいただくこととしておりまして、計画に掲げる代表的な目標に対する、令和4年度(2022年度)の実績として、進捗状況の外部評価を行う場としております。</p> <p>総合振興計画の後期基本計画につきましては、2022年度から2025年度までの4年間のうち、最初の1年目である2022年度の取組についての進捗管理となります。</p> <p>目標項目は159項目となりまして、このうち、後期基本計画と一体化した総合戦略に定める目標項目は、133項目となります。</p> <p>また、定住自立圏共生ビジョンにつきましては、総合振興計画後期基本計画と同じ2022年度から2025年度までの4年間の最初の1年目の進捗管理となります。こちらにつきましては、共生ビジョン固有の目標ではなくて、総合振興計画の目標項目からピックアップした成果指標、56項目が進捗評価の対象となります。</p> <p>これらの進捗評価を、項目3の進捗管理体制で行うこととなります。</p> <p>内部体制につきましては、市長トップでおこなう市内部の総合振興計画の進捗管理会議で行い、外部体制としましては、本日お集まりの委員25名から成る浜田市総合振興計画審議会にて進捗管理を行うこととしております。</p> <p>資料の裏面をご覧くださいませでしょうか。</p> <p>ここでは進捗管理のスケジュールを記載しております。</p> <p>表の真ん中辺りに記載の進捗管理会議、これがいわゆる市の内部の会議ですが、これを7月7日に開催しまして、本日の審議会が右斜め下辺りにあり、第1回審議会というところで、この審議会での検証に対するご意見をいただき、修正を加えた内容をもって、今度は左下の方に、議会報告とありますが、9月に予定されている市議会定例会、各常任委員会において、これらの進捗管理等をご報告させていただく予定としております。</p> <p>市議会常任委員会においても、様々なご意見をいただくこととなると思いますが、最終的な修正内容につきましては、9月下旬をめどに、また審議会委員の</p>

	<p>皆様にご報告させていただきたいと考えております。 資料1についての説明は以上となります。</p>
会長	<p>はい。 ご説明ありがとうございました。 委員の皆様からご質問やご意見がありましたらお願いいたします。 いかがでしょうか。 (意見なし) 特にないようですので、具体的な進捗管理方法や会議スケジュールについては今ご説明のありましたとおり進めることといたします。 続きまして(2)第2次浜田市総合振興計画後期基本計画の進捗管理方法について、事務局から説明をお願いいたします。</p>
政策企画課長	<p>はい。 それでは議題(2)について説明させていただきますので、資料2をご覧くださいければと思います。 ここでは、総合振興計画等の進捗管理をどのように行うのか、その方法についてまとめております。 昨年度開催の審議会では、前期基本計画の最終年度のところで、前期基本計画の6年間の検証について、委員の皆様には様々なご意見をいただいたところです。 その中で達成率の算出方法がわかりにくい、或いは進捗評価の基準がわかりにくいということであったり、目標の達成率の進捗評価が連動していない、例えば達成率がマイナスで出ているにもかかわらず、評価がABCDEの5段階評価のうちの真ん中、C評価になっていたりするのはなぜかということについて、理解しづらいなどと様々なご意見をいただいております。 このため、令和5年度の審議会までに、進捗評価の考え方や見せ方を含め、進捗管理方法をわかりやすい方向に改善できないか検討することを事務局の宿題とさせていただいていたところです。 この資料4以降で具体的な評価の中身について、また後で説明をさせていただきますが、まずは進捗管理の方法について、前回、昨年度からの変更点を中心に説明をさせていただきたいと思っております。 総合振興計画は基本構想、基本計画、実施計画で構成されますが、基本構想の中で、人口、出生数、社会増減数の3つの基本指標を掲げております。 これらの基本指標についての令和4年度の進捗状況は、次の議題、それから資料3で改めて説明をさせていただきます。 また、基本計画の中で、産業経済部門、健康福祉部門、教育文化部門などと、部門別の計画を策定しておりますが、それらの部門別計画の基本方針に示す、主要施策ごとに代表的な目標というものを設定しております。 この代表的な目標の評価基準について、先ほどお話した、達成率の算出方法がわかりにくい、進捗評価の基準がわかりにくいなどのご意見に対する新たな評価基準を記載しております。 1頁の下の辺り、4-1達成率計算方法をご覧くださいければと思います。 ここでは基本的な考え方をお示ししておりますが、昨年度までは、計画最終年度の目標値を用いた複雑な計算式により、各年度の達成率をはじき出してお</p>
資料2説明	

りました。

この度からは、計画最終年度、令和 7 年度になりますが、この目標に向けた各単年度、5 年 6 年 7 年の目標値を表示しまして、その各年度の目標値に対する当該年度の実績をもって、達成率を算出することとしています。

また、数値の維持や抑制というものもございますが、この達成率がマイナスとなるような目標については、達成率によらない評価方法としております。

具体的な例としましては、大きく 4 つにパターン化した達成率の算出状況を、掲載させていただいております。

ここに算出方法とありますが、4 つのパターンというのが、①増加目標②減少目標、③維持目標、そして 3 頁に④増加の抑制、減少の抑制というものがございます。

まず①についてですが、増加することを目標とするパターンです。これが全部で 159 あるうち、一番多いケースで 144 項目あります。達成率の計算式は、当該年度の目標値分の実績値としております。

続いて②については、減少させることを目標とするパターンです。これは 4 項目ございます。達成率の計算式は、実績値分の当該年度の目標値としております。

③については、数値を維持するパターン。

そして、3 頁の④は増加の抑制、減少を抑制するパターンです。

これらのパターンにつきましては、これまで複雑な計算式を用いて、場合によってはマイナスの達成率が出ており、マイナスの達成率とは何だろうということもこれまでご質問いただいておりますが、我々も表現に苦勞をしていたパターンでした。

これらについては、今後、達成率は無理に算出しないということにしております。

これら大きく四つのパターンごとに、達成率をまず算出しまして、その達成率をもとに進捗評価の基準を整理したものが、3 頁の (2) 進捗評価基準というところの表になります。

これまでこの進捗評価については、A から E の 5 段階の評価をしておりました。

この 5 段階評価が、先ほど説明しました各目標の達成率と、必ずしも関連しないことが理解しにくいとのご意見をいただいておりますので、この度からは、この 5 段階評価を A B C の 3 段階評価にして、なおかつ達成率を原則関連させることで、わかりやすさを優先させております。

まずは表のうち、増加目標 144 項目について、ご覧いただければと思います。

この達成率が 100% 以上であったものが A で順調であるという評価、達成率が 99% から 50% までのものが B で、これは一定の進捗があるという評価、そして、達成率が 49% 以下のものについては C で遅れているという評価としています。

減少目標 4 項目についても同じ基準としております。

そして、維持することを目標とする 7 項目につきましては、当該年度目標値を維持または上回ることができたものについては A 評価、それに対して、目標値に達成していない実績については、B または C 評価となるのですが、前年度よりも実績が上回るものについては一定の進捗があるものとして B 評価、そして前年度と同じまたは後退した実績については遅れているものとして C 評価とさせていただきます。

	<p>同じ考えで、増加の抑制、減少を抑制するという目標 4 項目についても、当該年度の目標達成したものを A 評価、目標未達成であったものの前年度よりも向上したのものについては B 評価、前年と同じまたは後退した実績については遅れているものとして、C 評価とさせていただいております。</p> <p>実際ですね、各部門別の代表的な目標に対する評価については、また後程、資料 4、資料 5 を用いて説明をさせていただきたいと思っております。</p> <p>資料 2 については、説明は以上となります。</p>
会長	<p>はい。ありがとうございました。</p> <p>ただいまのご説明に関連して、この議題については、事前に意見の提出があったように聞いておりますので、それについてのご報告いただければと思います。</p>
政策企画課長	<p>本日、追加で皆様の机の上に置かせていただいたもので、「総合振興計画、定住自立圏共生ビジョンは進捗に対する意見」、これが事前に意見を集約したものになります。ここが一番上のところ、資料 2、進捗評価方法についてというところで、ご質問ではないのですが、感想と言いますか、ご意見をいただいております。</p> <p>ここでは、「A から E の 5 段階から、A から C の 3 段階となり、達成率で評価されているので、わかりやすくなっていると思います。」そういうご意見をいただいております。</p> <p>以上です。</p>
会長	<p>はい。ありがとうございます。</p> <p>議題 2 について委員の皆様からご意見やご質問がありましたら、どうぞいただければと思います。いかがでしょう。</p> <p>(意見なし)</p> <p>特にないようですので、具体的な議論のところでもたまたまありましたらご発言いただければと思います。</p> <p>ただいまの説明の通り、後期基本計画の進捗評価基準達成率の計算方法については、進めさせていただくということとします。</p> <p>続きまして議題 (3) 第 2 次浜田市総合振興計画後期基本計画の進捗評価について (案)、及び議題 (4) 第 2 次浜田市総合振興計画後期基本計画及び浜田市定住自立圏共生ビジョンの進捗状況について、この 2 つの議題につきましては内容が関連いたしますので一括で説明をしていただき、皆様からのご意見ご質問については、それぞれにお伺いしたいと思っております。</p> <p>まずは事務局から一括してご説明くださいますようお願いいたします。</p>
政策企画課長	<p>はいそれでは議題 (3) 第 2 次浜田市総合振興計画後期基本計画の進捗評価について (案)、まずは私の方から資料 3 を基に説明をさせていただきます。</p> <p>資料 3 説明</p> <p>ここでは総合振興計画後期基本計画の進捗評価について、総括した資料となります。</p> <p>まずは総合振興計画の基本指標である 3 つの項目、先ほど資料 2 でも申し上げた人口、出生数、社会増減数、こういったものの状況についてご報告させていただきます。</p> <p>参考資料、浜田市の人口における社会増減の状況、こちらとあわせてご覧いただければと思います。</p> <p>最初に人口についてです。</p>

令和4年度末、今年の3月31日の時点で、浜田市の人口は50,129人で、資料1頁のグラフの、青い棒グラフが示す数値となります。前年の2022年3月末と比較して、1年間で933人、1.82%の減少がありました。

基本構想策定時の平成27年、この年度末2016年の3月31日の人口が、真ん中にある表のところ、56,159人でしたが、その後も人口減少が進みまして、2021年に策定した人口ビジョンでは、2023年、今年の3月末の人口、50,402人になると推計しておりました。その推計を上回るスピードで、人口減少が進んでいるということがこのグラフから見て取れます。

続いて出生数の状況についてですが、資料2頁をご覧くださいと思います。ここでは同じように、青い実績の数字、それからオレンジ色の目標数値を出しておりますが、先ほどの推計人口を維持する前提となる出生数を、年間300人としている、これがオレンジの折れ線グラフになります。この目標を下回る出生が、この青いグラフ283人ということです。

この出生数は、平成28年、2016年度から始まる第2次総合振興計画のこれまでの過去7年の中で、最小の出生数となっております。

要因としましては、以前から傾向としてある若者の人口減少と合わせ、新型コロナウイルス感染症の影響により、主には若者の出会いの場が減少したことが理由と考えられています。

そして3つ目、社会増減数についてです。転入転出による人口の減少を表す社会増減については、昨年度はマイナス244という結果でした。

人口ビジョンでは、後期基本計画が終了する2025年までは、社会増減数をマイナス286で、推進しておりますので、これを下回る結果となりました。

また、2021年度の世界増減数はマイナス458でしたので、前年度より改善した結果となりました。

その要因としましては、就職や転職を理由とした転入の増加や、同伴者の転出が減少したことによるものと考えられています。

新型コロナウイルス感染拡大による内外の人の移動の影響については、ピークアウトが見られるものの、場所を問わない働き方であるとか、転職なき移住といった社会的な動きは、当面続くものと予想されます。

こういった動きを念頭に置きつつ、人口動態の分析を進めて参りたいと考えております。

また、総合振興計画後期基本計画の中でも掲げております「若者が暮らしたいまちづくり」、こういったまちづくりに繋がる取組を、引き続き進めて参りたいと思います。

続いて、資料の3頁で、総合振興計画の各部門別、地域別の計画の進捗状況の表をご覧ください。

この後、資料4でも詳細ご説明いたしますが、部門別計画の、代表的な目標に対する評価項目。158項目における、2022年度の進捗状況を一覧にした表となります。

ここで言います、達成状況がA（順調である）という評価は56.3%、B（一定の進捗がある）という評価は、全体の32.9%となっております。

また、C（遅れている）という評価の割合は、全体の9.5%となっております。

遅れている理由としましては、新型コロナウイルス感染症の影響によるものが多数あり、令和5年度以降、第5類の感染症として位置付けがなされる中、それぞれの施策へのさらなる取組を進めるとともに、目標達成に向け、着実に

	<p>進捗管理を行って参りたいと考えております。</p> <p>また、すでに達成状況がA、達成率 100%以上となった評価の目標につきましては、目標値の上方修正を検討し、さらに効果的な取組を進めて参りたいと考えております。</p> <p>ABC評価の他に「評価しない」という項目が、表の右のところですね、合計 2 項目ありますが、これは 2022 年度分をもって評価を行うことが適切ではないというもので、この 2 項目につきましては、2023 年度から評価を行うこととしております。</p> <p>以上、資料 3 について説明させていただきました。</p> <p>これより計画に掲載する個別の目標に対する進捗評価について、資料 4 を用いて説明をさせていただきたいと思っております。</p>
<p>政策企画課 企画係長 資料 4 説明</p>	<p>地域政策部政策企画課の原田です。</p> <p>私の方から、議題 (4) 第 2 次浜田市総合振興計画後期基本計画及び浜田市定住自立圏共生ビジョンの進捗状況について説明させていただきます。</p> <p>それでは、資料 4「第 2 次浜田市総合振興計画後期基本計画掲載目標の進捗状況」をご覧ください。</p> <p>まず、この資料の見方について説明をさせていただきます。</p> <p>表紙については、昨年までの前期基本計画にも用いておりました見慣れた表としております。</p> <p>この表での変更点が 2 点ございます。</p> <p>1 点目は「部門別計画」、「地域別計画」、「開かれた行財政運営の推進」の後に「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の項目を追加しております。</p> <p>前期基本計画では、別冊で進捗管理をしておりましたが、後期基本計画では一本化したことによりまして、進捗状況につきましても、一括にまとめさせていただきます。</p> <p>2 点目としましては、資料 2 の進捗管理方法で、先ほど課長より説明がありましたが、進捗評価の基準、A から E までの 5 段階評価を ABC の 3 段階評価に変えております。</p> <p>また、ABC の隣に「評価しない」という項目を設けております。こちらは 2023 年、令和 5 年度から始まる取組や事業があることから、それについては令和 4 年度の評価は行わず、令和 5 年度から評価をしていくということとしております。該当となる項目は 2 点ありますが、具体的には後程説明させていただきます。</p> <p>続いて頁をめくっていただきまして 2 頁をご覧ください。</p> <p>2 頁から 17 頁までは、後期基本計画に掲載されている代表的な目標について、一覧表で掲載しております。表の左欄外に連番を振っておりますが、19 頁以降の部門別計画の個別表を見ていただく際には、こちらの番号で追っていただくようなつくりとしております。</p> <p>続きまして、頁をめくっていただきまして、18 頁をお開きください。</p> <p>こちらは、資料 1 の方で少し記載をさせていただいておりますが、地方創生推進交付金を活用した事業、今年度からは、交付金の名称の方がデジタル田園都市国家構想交付金となっております。この事業につきましても、併せて進捗評価を行うこととしておりますので、島根県と広域連携して実施している 2 事業について進捗評価を行っております。</p>

続いて、隣の 19 頁をご覧ください。

ここからは、部門別計画の個別表となっております。上から順に見ていただきますと後期基本計画の本編に記載されているまちづくりの大綱、ここで言いますと「I 活力のある産業を育て雇用をつくるまち【産業経済部門】」、施策大綱、19 頁で見ますと、「1 水産業の振興」、それから基本方針、主要施策を抜き出して記載しております。

主要施策として取り組むこととしている事業等につきましては、各課において、令和 4 年度の主な取組と成果、今後の展開を記載しております。

前期基本計画では、代表的な目標に対してのみの記載内容となっておりますが、まちづくり大綱の姿に近づけるため、様々な取組や事業を実施することとしておりますので、その部分についてももしっかり記載することとしております。

なお、代表的な目標が設定されていない主要施策につきましても、主な取組と成果、今後の展開については同様に記載することとしています。

代表的な目標については、令和 4 年度の目標、令和 4 年度の実績を記載し、資料 2 の進捗管理方法で説明しました進捗評価の基準に沿って A B C の進捗評価を自動的に記載することとしております。

19 頁を見ていただきますと代表的な目標が 3 つ掲載されておりますが、3 つとも維持の目標となっており、実績値が「目標値を維持又は向上」という区分に該当しておりますので、A 評価がついているということになっております。

そして下の方にグラフをつけておりますが、こちらのグラフは水色の線で目標値を、オレンジ色の棒で実績値を目標ごとに表示し、令和 7 年度に向けてどのような進捗をたどっているかを表していくこととしております。

以上が資料 4 の冊子の見方の説明となります。

それでは 1 頁の表紙に戻っていただきまして、令和 4 年度の進捗状況について説明をまいります。

各項目の状況につきましては、先ほど資料 3 の方で説明がありましたので、各評価の件数等につきましては割愛させていただきますが、159 項目ある目標について、下の表の項目合計が 1 件少ない 158 となっていることにつきましてご説明します。

これにつきましては、表の下に、進捗評価対象外項目とありますが、開かれた行財政運営の推進で、1 項目が現時点で実績値が未確定となっているものでございます。

この項目につきましては、数値が確定次第、進捗の評価等に追加させていただきたいと思っております。

それでは代表的な目標の進捗状況について、19 頁からの個別表を用いて、C 評価となった項目や A 評価の項目の中でも特に達成率が良かったもの、また令和 4 年度は評価しないとなった項目につきまして、かいつまんで説明をさせていただきます。

それでは、産業経済部門の方から、21 頁をお開きください。

7 番目、「新規「どんちっち」ブランド加盟業者の増加」になります。

こちらは水揚げの低調だったこと等も影響し、新規加盟業者は目標の 6 店に対し 2 店の実績となったため、C 評価となっております。

続きまして、26 頁をお開きください。

14 番目の「認定農業者数の新規認定数の増加」の項目です。

農事組合法人の合併による新設や経営の継承により、目標の1経営体に対し、大きく上回る3経営体の新規認定となり、A評価となっています。

続きまして、健康福祉部門に入りまして、39頁をご覧ください。

29番、「国民健康保険診療所の医師数の維持」です。

急な退職があり、各機関へ支援を依頼し診療日数を減らすことなく運営を行いましたが、医師数6人役の維持には至らなかったためC評価となっております。

続きまして、45頁をお開きください。

35番、「幼児教育センターが実施する研修参加者数」になります。

代表的な目標の説明の下の方にありますように、令和5年度設置予定のセンターが実施する研修について、令和5年度から実績値を追っていくこととしておりますので、令和4年度につきましては「評価しない」としております。

続きまして、47頁をご覧ください。

38番、「地域子育て支援拠点利用者数の増加」です。

令和4年4月の子育て世代包括支援センター「すくすく」のオープンに伴いまして目標の19,500人に対し、目標を上回る21,824人の実績となり、A評価となっております。

続きまして、教育文化部門に入りまして、61頁をご覧ください。

59番の「地域学校協働活動に参加したボランティア人数の増加」の項目です。

まちづくりセンターが拠点となり、学校と地域の連携がなされ、目標の4,000人に対し、5,891人となりA評価となっております。

続きまして、65頁をご覧ください。

66番の「トップアスリート事業の開催回数の増加」の項目です。

新型コロナウイルス感染症の影響によりオンライン教室となったため開催を見送りました。目標の年間開催2回に対して実績0回であったため、C評価となっております。

環境部門に移りまして、70頁をお開きください。

71番の「住宅用太陽光発電施設設置件数の増加」です。

市民が脱炭素について学ぶ機会の提供と再生可能エネルギー設備の導入支援を行い目標の5件を上回る6件となりA評価となっております。

続きまして、生活基盤部門に移りまして、79頁をご覧ください。

84番「市道小国峠線道路改良」になります。

こちらは令和4年度に事業化に向け、河川管理者との調整を行い、令和5年度から事業開始し、実績値を追っていくこととしておりますので、令和4年度については「評価しない」こととしております。

続いて81頁をお開きください。

88番「交通手段の確保に取り組むまちづくり活動団体の増加」です。

地域の実情に応じた交通手段確保に取り組む団体への相談対応や支援事業を活用していただき、目標の5団体に対しまして、大きく上回る16団体の実績となり、A評価としております。

次に防災・防犯・消防部門に入りまして、90頁をご覧ください。

101番「防災防犯メール等登録者数の増加」の項目です。

防災出前講座やチラシ等を活用し、登録者数の増加に努めたことによりまして、目標の12,200に対し、15,119人の実績となり、A評価としております。

続きまして、93頁をご覧ください。

105 番「防犯出前講座の開催回数の増加」になります。
警察とも連携して、講座を実施しておりますが、市独自の防犯出前講座について周知が不足していたため、目標の 40 回に対して 11 回の実績と、目標を下回りまして、C 評価となっております。
次に地域振興部門入りまして、102 頁をご覧ください。
116 番「空き家バンク登録件数の増加」です。
専門のホームページや、広報誌、チラシ配布をするなど、制度の周知をするとともに、相談員による丁寧な相談対応に努めまして、目標の 78 件に対し過去最高の 83 件の実績となり、A 評価としております。
続きまして、106 頁をご覧ください。
125 番「新入生浜田探索ツアー参加者数の増加」の項目になります。
浜田の魅力をより知っていただく機会として実施しておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響により動画視聴による実施となったことから、ツアー参加者の実績は 0 となったということで C 評価となっております。
次に地域別計画に移ります。
112 頁をお開きください。
金城地域の 113 番「鳥獣対策モデル集落を 10 集落認定」の項目です。
有害鳥獣による農作物等の被害対策として 9 集落のモデル集落認定になったことによりまして、目標の認定に向けた進捗率 30% に対して、大幅に上回りまして 90% の実績で A 評価となっております。
続きまして 118 頁をご覧ください。
弥栄地域の 146 番「宿泊客数の増加」の項目です。
ふるさと体験村施設の再開が延期になったことが影響し、目標の 1,565 人に対して、122 人の実績となり C 評価としております。
続きまして、123 頁をお開きください。
開かれた行財政運営の推進の 155 番「健全な実質公債費比率の確保」というところで、公債費比率の状況を確認するところがございますが、こちらはまだ確定値が出ていないというところで未評価となっております。
次に、浜田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の項目について説明をします。
総合戦略の数値目標は 3 項目を除き、全ての項目で後期基本計画の代表的な目標と被っております。3 項目のうち人口、出生数については資料 3 の進捗評価総括のほうで説明がありましたので、1 項目のみ説明させていただきます。
128 頁をお開きください。158 番「雇用創出数」です。
令和 4 年度に、浜田市初となる専門系事務職場の立地認定がありましたが、令和 5 年 5 月に操業開始のため、令和 4 年度の実績は 0 人で C 評価となっております。
以上、総合振興計画についての進捗状況でございます。
続きまして、資料 5 をご覧いただきたいと思います。緑色の表紙のものです。
資料 5 は、定住自立圏共生ビジョンの成果指標の進捗状況になります。本ビジョンの計画書につきましては、すべての項目が、先ほど説明させていただいた総合振興計画の方から抜粋した項目です。
評価についても先ほどの総合振興計画と同じ評価となっておりますので説明のほうは省略させていただきます。
続きまして資料 6 をご覧いただきたいと思います。
本日、机の上に当日資料として置かせていただきました、「浜田市総合振興計

資料 5 説明

資料 6 説明

	<p>画後期基本計画『代表的な目標』の見直しについて（案）」というものです。</p> <p>総合振興計画は目標値も含めまして、審議会の委員の皆さんにご審議いただき、また議会で議決をいただいた内容となっておりますので、目標値の修正は基本的に行いませんが、前期基本計画と同様、達成した目標については、上方修正を検討し、さらに効果的な取組を進めていくことを考えております。</p> <p>この資料ではそういった上方修正による目標の見直しを含めまして7項目について、令和4年度または令和5年度以降に変更する項目を掲載しております。</p> <p>これにつきましてははまた後程ご審議をいただければと思います。</p> <p>内容につきましてはですが、はじめに、令和4年度からの見直しとしまして、55番「学校給食での地域食材利用率の増加」の項目です。</p> <p>実績値として利用しておりました県の調査において、令和4年度から調査方法が食品数ベースから金額ベースに変わったことによるもので、今後の目標値については70%から80%に変更をしていくものです。</p> <p>次に令和5年度から見直す目標についてです。</p> <p>12番「有機野菜栽培面積の拡大」の項目についてですが、令和4年度に有機農業実施計画を策定し、目標面積が更新されたため、それに合わせ目標値を8,000㎡から62,000㎡に上方修正というものです。</p> <p>その下の46番以降の項目につきましては、既に目標値を超えたもの、超える見込みがあるものについて上方修正する項目となっております。</p> <p>以上が代表的な目標の見直し案についての説明になります。</p> <p>少し長くなりましたが、議題(4)第2次浜田市総合振興計画後期基本計画及び浜田市定住自立圏共生ビジョンの進捗状況についての説明は以上となります。</p>
<p>会長</p>	<p>ご説明ありがとうございます。</p> <p>初めに議題(3)になります第2次浜田市総合振興計画後期基本計画の進捗評価についてご質問やご意見をお願いしたいと思っております。</p> <p>これにつきましても、事前に意見の提出がありましたら、事務局からご説明いただければと思います。</p>
<p>政策企画課長</p>	<p>はい。資料3につきましては、後期基本計画の進捗評価についてというところで、本日お配りしたご意見の一覧のところの二つ目になります。</p> <p>読み上げます。「参考資料で令和4年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、社会増減数の減少数が大幅に抑制されたとあるが、同じく影響下にある令和3年がマイナス492、令和2年がマイナス195であり、特に令和4年は7年間のうちで最大の増減であるので、令和4年の減少の要因は他にもあるのではないかと思う。」そういうご意見をいただきました。</p> <p>これに対しては、事務局の方で回答させていただきたいと思っております。</p> <p>これにつきましては、参考資料の2枚目の裏の下の※のところについてご質問いただいた内容ですが、令和4年は令和3年と比較して、社会増減がマイナス492からマイナス172までに、減少数が抑えられています。</p> <p>この理由は、コロナだけではなくて他にも要因があるのではということだと理解しましたが、この要因を分析してみますと、その隣の頁をご覧ください。</p> <p>ここには転入者転出者に対する任意の調査によるものですので、住民基本台帳上の数値と異なりますが、転入転出の調査にご協力いただいた方の移動別理由がまとめられたものになります。ですから、社会増減数が前頁の数字とは異</p>

	<p>なりますのであらかじめご了承ください。</p> <p>ここで、令和3年と令和4年を比較してみますと、表の中、①から⑧までありますが、①の転勤や②の就職、それから③の転職或いは転業を理由とした、転入転出の社会増減が少なくなっていることが挙げられます。</p> <p>この三つの理由で、令和3年から令和4年で、社会増減数が大きく改善されています。</p> <p>そして、⑧の下に同伴者という項目がありますが、この同伴者の社会増減数が、令和4年と令和3年で76人も改善しているなど、調査に協力いただいた方だけでも、令和3年から令和4年にかけて、トータルで303人もの社会増減数が改善しております。</p> <p>浜田市は、県西部の中核都市として、近隣の他の市町と比較して、国や県の出先機関も多いということ、そして企業の支店や営業所が多数あることで、仕事関係の移動が多いという状況があります。</p> <p>現在こういった事業所が、市内では年々減少傾向にある中で、新型コロナウイルス感染症の影響以外に、社会増減の減少要因が何であるか、現段階では明確な理由はわかっておりません。</p> <p>ただ、浜田における安心して働ける場の確保、こういったものが社会増減に大きく影響していることは、間違いのないと思っております。</p> <p>引き続き、年齢層ごとの傾向の分析を事務局としても行って参りたいと考えております。以上となります。</p>
会長	<p>ご説明ありがとうございました。</p> <p>今のご説明についてでも、その他の観点でもよろしいので、委員の皆様から何かご質問やご意見はございますか。</p> <p>はい、どうぞ。</p>
岡田委員	<p>資料3の2頁のところに、出生数が大幅に減少した要因というのが書いてあります。</p> <p>その中で、2行目に書いてあります、「新型コロナウイルス感染の影響により、出会いの場が減少したことが要因の一つと考えられます。」これはどういうものを基にして導き出しておられるのか、お伺いしたいと思います。</p>
政策企画課長	<p>ではこれについては事務局より申し上げます。</p> <p>ちょっと出会いの場の減少がわかりにくいかもしれませんが、例えば新型コロナウイルス感染拡大が広がる中で、飲食店が大きな打撃をくらったのは皆さんも記憶に新しいところだと思います。</p> <p>こういったところで、飲み会であるとか、カラオケであるとか、人が集まる場所に集まらない状況があった、こうした場を利用して、出会いの場を探しておられた、或いはそういう機会を持つと思っておられたけどできなかった方が多かったことと思います。</p> <p>明確な資料があるわけではありませんが、こうしたコロナの感染症拡大の影響により出会いの場が減少したことは、要因であろうかと事務局では分析したところです。</p>
岡田委員	<p>行政が行われるこういう検証の資料の中に、推測ですよ。結局ね、何か根拠の資料があるわけでもない。</p> <p>確かにコロナで、飲食店等の利用が少なかったということは、あろうかと思えますけども。それを直接、この要因の一つですので、これだけが要因とは思</p>

	<p>っておりませんけども。こういうものに記載するのが適切なのかどうなのかということがちょっと疑問に思うんですけども。</p> <p>事務局さんとしてはどのようにお考えでしょうか。</p>
政策企画課長	<p>おっしゃられた通り、資料にもあるとおりあくまで要因の1つと考えられるということですので、他にも要因はあろうかと思いますが、我々で想像し得るところで、明確な資料等ございませんが、こうした理由を1つ挙げさせていただいたところです。</p>
岡田委員	<p>確かに推測の域は出ませんが、これも1つの要因かもしれません。</p> <p>けども、これに頼ると言ったらおかしいですけど、コロナがあったからって出生数が少なくなったんだってということではなくて、その前に書いてあるは若者の人口の減少とか、それ以外の理由等をしっかり煮詰めていただいて、解決に向けて進んでいただけたらと、いうふうに思いますのでよろしく願います。</p>
政策企画課長	<p>確かに人口の減少というのが、コロナの拡大が広まる前から、人口減少の傾向が出ておりましたので、根本的なところ若者の流出が著しいというところは、丁寧に分析して参りたいと思っています。</p> <p>ありがとうございました。</p>
会長	<p>この度、後期基本計画の最初の年ということでその前のところからの連続性がちょっと見えにくいところがあると思いますので、そこは難しいことではありますけれど。</p> <p>少し長期的な視野を広げて分析を試みていただけたらよろしいかなと思います。</p> <p>その他、はい、願います。</p>
宮本委員	<p>同じ出生数のことですけど、今のこの若者の出会ってところもあるかもしれませんが、やはり子どもを産み育て、それで生活の安全っていうものが一番基準ではないかなと思っています。</p> <p>結局何て言うのですか、ずっと以前、私たちの子ども時代のときには、もう3人から4人の子どもの出生数があったんですけど、今は産み育ててしっかり生活ができない、それが一番大きな原因というところで、やっぱり安心して、住める浜田市のまちづくりっていうのが、その根本的な理由ではないかなと思っています。</p> <p>それにやはり今、共働きっていうところで子どもを産んだら次の仕事を、またそこで働けるかっていう大きな不安もあるところのような感じで、私は想像しているところなのですが、そういうデータは今出しておられないのですか。データといいますか、思いはないのですか。</p>
政策企画課長	<p>総合振興計画、この度は後期基本計画からは、総合戦略、国の総合戦略に基づいて、浜田市の総合戦略を定めた中ですが、この基本目標二つ目に、子どもを安心して産み育てる環境づくりというものがございます。</p> <p>これは国の戦略の中でも、結婚・出産・子育ての希望をかなえるという国の戦略でもあるわけですが、浜田市においても、子どもを安心して産み育てる環境づくりというものを目標に掲げて、なおかつ目標値を300人ということで、このグラフのオレンジの部分ですね、300というのは、こういった目標をかなえるために設定したものですので、これについては、コロナのことではなく、そもそものことの課題とし、これは一つの部署だけではなく、市の庁舎を挙げて</p>

	<p>取り組みたい課題とっておりますので、引き続きこの子どもを安心して育てる環境づくりに取り組んで参りたいと考えております。</p>
会長	<p>重要なお指摘だったかと思えます。皆さん、十分認識をして取り組んでいただいておりますものというふうに私も認識をしております。ありがとうございます。</p> <p>他にございませんでしょうか。</p> <p>そうしますと、第2次浜田市総合振興計画後期基本計画及び浜田市定住自立圏共生ビジョンの進捗状況について、資料4についてです。</p> <p>ご意見をいただければと思えます。</p> <p>事前の質問がありましたらお願いいたします。</p>
政策企画課長	<p>これも本日お配りのご意見一覧をご覧くださいければと思えます。</p> <p>資料4、5についてです。</p> <p>資料に記載がございます通り、「目標と実績のグラフはわかりやすく良いと思えました。」2つ目に、「非常に見やすい資料となっております、評価します」というご意見を、それぞれ別の方にいただきました。</p> <p>そして3つ目ですが、これはご質問、ご意見ですが、「資料では見当たらなかったのですが、浜田漁港で水揚げ額が低迷していると聞いています。市長は従来の水揚げと養殖による水揚げで100億円を目指すと表明されています。主要施策5「漁業資源確保対策」では、記載がありますが、水揚げ額を増やすには、養殖事業は不可欠と思えます。そのためには、庁舎内に特命的な部署職員を配置し、マルハニチロとの協定以外に独自の事業展開も必要ではないでしょうか」というご意見をいただいております。</p>
産業経済部長	<p>浜田漁港の水揚げにつきましては、全国的な水産資源の減少に加えまして、底引き網漁船2ヶ統の廃業、それから巻き網漁船1ヶ統の水難事故による休業などもありまして、直近の令和4年では、ご指摘のように売上金額は34億9500万ということで、大変厳しい状況にあります。</p> <p>今年度から養殖による水揚げ確保を図るために、水産大手のマルハニチロと海面養殖を含めた養殖事業全般の可能性を探る、新たな協定を締結しまして、調査研究を開始したところでございます。マルハニチロさんの高い技術力やノウハウをお借りしながら、養殖事業の事業化に向けた可能性を探っていきたいというふうに考えています。</p> <p>庁舎内に特命的な部署、職員配置し、マルハニチロとの協定外の独自の事業展開を検討してはどうかのご意見でございます。水揚げの確保、増大のために、養殖事業以外に、地元漁船の維持・存続対策を現在、最優先に取り組んでおります。特に水揚げ量も多く割合を占めております地元底引き網漁船、現在4ヶ統ございますが、すべて船齢、船の年齢です、それが35年以上経過しております。その老朽化対策といたしまして、新船建造を促進し、支援について県とも連携し協議を進めているところでございますが、すでに本年8月の盆明けから、休漁期明けから導入される沖合底引き網の新船に対する支援を決定しているところでございます。</p> <p>さらにですね、現在1ヶ統しかない地元のまき網漁船の2ヶ統目の確保についても、現在市内外の事業者さまにまき網漁船事業開始についての協議検討を行っているところでございます。</p> <p>現時点では、ご指摘の特命的な部署については検討しておりませんが、担当課である水産振興課の中で、県やJF、それから水産関連事業者ともしっかりと</p>

	連携しまして、水揚げの確保に取り組んで参りたいと考えています。
会長	ご説明ありがとうございました。 只今のご説明に対して、重ねてのご意見等ありましたらご発言ください。 特にないようでしたら、その他の点で伺います。 ぜひ積極的にご発言ください。
徳田委員	39 頁の 29 番「国民健康保険診療所の医師数の維持」のところですが目標数は 6 人役になっております。今年度、前年度も 5 人役、現在のところも医師の確保については 6 人役になっておりません。 診療所の方も、大変先生方に、代理の先生方でおられないところを補っていただいておりますけども、ぜひ、早い段階で 6 人役の目標を達成していきませうようお願いしたいと思います。
健康福祉部長	今言われましたように、しっかり確保したいと考えております。 またそういう方がおられましたらご紹介いただけたらと思っておりますので、よろしく願いいたします。
会長	重ねてのご質問、ご意見でもよろしいですか。 他の関連でも構いませんので、ご意見をいただければと思います。
田中委員	すいません。68 頁に、70 番「文化財の指定・登録件数の増加」と謳ってあるのですけれども、現状値が 100 件に対して目標値が 100 件、実績値 100 件で、すると達成率がこれで 100%となって進捗評価を A ということになっていますが、登録件数の増加を謳っているのに、ずっと横ばいで A 評価というのはなにかおかしいように思うのですが。これは、増えるのが基本じゃないのですか。 それと登録文化財の中に建造物があるのですかね、今浜田には。いいますのは、建造物の方が観光客受けしますので、そういった方の建物の調査や登録も進めていただきたいと思っております、本当に今、増減なしで A 評価というのが、ちょっと納得いかないのので教えていただければと思います。
教育部長	文化財の指定・登録に関しましては、するまでにいろいろ調査等の必要がありまして、時間がかかるということもございます。 実績値、今 2022 年が 100 件ですが、現在 101 件ということになっております。いろいろ 2022 年度に文化財の事前把握をやるということで、今後の展開のところにも書いてございますが、2023 年度に文化財の保存という総合的な計画となる浜田市の文化財保存活用地域計画の素案をつくりまして、2024 年に計画策定を目指しておるようなところでございます。 そういうようなところの中で、保存活動もやりながら、当然、新たな指定をするような重要な文化財等についても、適宜指定をして増やしていきたいというふうに考えておりますが、いかんせん、ちょっと時間がかかるというような趣旨のものがございますので、そのような目標値ということになっているのが現状でございます。
教育長	下のブルーの目標を見ていただくと、100 件から始まって 1 件或いは 2 件ずつ増えてですね 2025 年に 104 件を目指すというものです。 今、部長がご説明しましたように、この 1 件の文化財を指定するってのは、本当に長い時間がかかるものでして、件数的には 1 件や、2 件の増加ではありませんけども、文化財を増やしていくという方針は、ここで見ていただけるのではないかと考えています。 ただ、2022 年度については 100 件という目標に対して、そのとおり維持をし

	ているということでの評価にしているということでございます。
会長	資料 2 について、ちょっと説明できるものでしたら、いただきたいと思いません。
政策企画課長	<p>資料 2 のところでここと言えば、資料 2 の 2 頁、算出方法というものの中で 4 つのパターンがあると申し上げましたが、今の文化財の関係は、①増加目標 144 項目のうちの一つということになります。</p> <p>これについては、この計画策定時の数値は、おっしゃるとおり 100 件、2022 年の目標についても 100 件にしておりました。</p> <p>これについては、先ほど教育部から回答があったように、この 1 件を上げるのに時間がかかるというところで、まずは 2020 年、2020 年と変わらない 2022 年度 100 件でしたが、そのあとは毎年、このグラフにもある通り、2023 年には 101 件、2024 年には 103 件、最終的には 104 件というところで、今年度は資料の 3 頁のところにあるとおり、まずは 2022 年度目標としてあった 100 件はクリアしているので、達成率は 100%、ゆえに増加目標である達成率 100%は、順調というところで、この A 評価をつけさせていただいたところです。</p> <p>ただ、今年度、来年度の目標を策定の目標から少しずつ上げておりますので、これが計画通りにいくかどうかで、また達成率が異なり、それによって、この A B C の評価も変わってくるということになります。それについては、来年度の評価とさせていただければと思っています。</p>
会長	今気がつきましたけど、増分が小さいですので、達成率を計算したらすべて数値が出てきませんか。
政策企画課長	今になって思ったところですが、同じく資料 3 の 3 頁のところ、評価の一覧で A B C のほかに「評価しない」というものがあるという説明を私の方からさせていただきましたが、策定時の現状値と変わらない 2022 年度の目標であれば、勝負は 2023 年からということで、2022 は評価しないというのが適当かもしれないと、今ちょっと思ったところですが。もしよろしければ、そのように変更させていただいて、「評価しない」目標が、今 2 項目ありますが、それに 3 項目目として、追加させていただくのはどうでしょうか。
会長	<p>他の委員の皆様のご意見をちょうだいしたいと思うのですが、今説明を伺った限りでは、評価対象の年度について、特に増加が見込まれるわけではないので、対象外とするという整理で私もよろしいかなと思っています。</p> <p>そこはちょっとお認めいただければと思います。</p> <p>(異議なし)</p>
湯浅委員	<p>教育文化部門の全体的なことの質問が 1 点と、その中の数値の質問で 2 点なので、24 項目のうち、進捗状況が B であるという状況をどういうふうにお考えになっているかなど。</p> <p>資料を拝見させていただくと、大人の方に対してアクションを起こした項目に対しては、数値が伸びているとは思いますが、子どもが答える数値に対しての評価が、それに伴ってないなというのが 1 点。56 頁、57 頁の 2020 年度策定時現状値より 2022 年実績値の方が下がっているのに、達成率が 72%、一番上の例にしてですね、進捗状況が B になっているというのがちょっとわからないですけど、数値が下がっているのに、なんで達成率が全体的なものかもしれないですけど、進捗率が 50%以上になっているのはどういったことなのか、</p>

	<p>教えていただけたらと思ってお質問させていただきました。</p>
教育部長	<p>56 頁の B というところは、先ほどの資料 2 の算出方法の計算式に基づいて、出したところであります。</p> <p>全体的に評価が伸び悩んでいるということは、子どものところもあつたりと、いろいろなところで B のところはあるわけですが、結果から言いますと、今はそういうようなところで、担当部局として努力しているのですが、なかなかそれが数値という形、例えば学力のところとかもそうですけれども、学校の先生方が大変努力をして、子どもの学力の向上のために力を尽くしていただいておりますのは事実だと思います。</p> <p>学力向上推進室の方も、それが伸びるように、新たな深い学びとか、いろいろなところでの授業のテクニックのところの、マニュアル等作ったりして、教員の資質の向上や授業テクニックの向上など、そういうようなところにも努力はしていますが、なかなか数値として結果が伴わないっていうところはあるかと思っております。</p> <p>ただ、1 点だけ言わせていただければ、全体的に学力のところでは数値は低いですが、傾向としては右肩上がり、でこぼこはあるにしても、結果は近年出ているところでもありますので、当然ところで、努力はして、それが結果にも結びついておりますが、なかなか目標値のところまでいかないという事実はあるというところだけのご理解いただければと思います。</p>
会長	<p>事務局から評価の仕方、もう一度確認されますか。</p>
政策企画課長	<p>これについては先ほどの資料 2 について、これはパターンで、類型分けしていけば、増加目標ということになります。</p> <p>増加目標に対しては、目標値分の実績値ということで、ご指摘のあった 57 頁の 51 番 52 番、この B 評価についてということですが、これについては 100% に達していない。</p> <p>けれども 50% 以上ということで、B 評価にさせていただいているということです。</p>
会長	<p>関連して、続けてありますか。</p>
湯浅委員	<p>続けて、先ほど数値的なことではなくて、数字が伸び悩んでいるっていうことに対する返答ですけど、先生方が今働き方改革とかも含めて、すごく努力しておられるっていうのは、今、PTA で拝見させてもらって理解できていて、その上で、浜田市はせっかく親子共育プログラムを実施して、その先生方じゃないところで、この学力の上昇だったり、家庭で学ぶ効果を上げていって、その他の数値も一緒に上げていきたいと思いますっていうことのプログラムだと認識しているので、PTA も含めさせてもらってではあるんですけど、今努力しておられるのをさらに目標値に近づけようと思ったときに、その行政だけでは達成できないところもあると思うので、もし依頼事項とかそういう形でも、PTA に作らしてもらったりだとか、また別の団体からお知らせいただいたりということがあれば、より目的を達成しやすいかなと思うので、ちょっと意見ではございますが、こういったことをお伝えさせていただけたらと思います。</p>
教育長	<p>教育全般のことなのでちょっと私からお答えさせていただきたいと思っております。</p> <p>確かに今ここが B 評価になっているのは、子どもの意識が影響しているとい</p>

	<p>うことが非常に多い。子どもの意識っていうのは、年によっても当然変わりますし、周りの影響なんかはかなり受けるということで、例えばコロナ禍で活動なんかなかなかできなくなったりすると、意識も低くなったりします。</p> <p>従って、今回このような2022年度の結果になりましたけど、教育委員会としてはこれを何とか改めたいと思っていますし、これ学校だけではどうしても取り組むことできませんので、保護者の皆さんとか、或いは地域の皆さんのお力も借りながら、そういう心豊かな子どもが育まれていくように取り組んで参りたいと思いますので、ぜひ皆さんの方にもお願いできればと思いますし、そういったことをまた改めてお話する機会などあれば、皆さんと共有していただけるような、そんな働きかけもしたいと思っています。</p>
会長	よろしいでしょうか。他にありますか。
宮本委員	<p>すみません、資料6の59頁の55番の件ですけど、地元食材を学校給食に使う、この達成率が108.1%とすごくいい結果が出ているんですね。</p> <p>2020年のところは61.9%で急に良くなっている理由、理由って言い方おかしいですけど、どうして良くなったのかなっていうのと、それともう一つ。これには、旧那賀郡の給食センターもこの中に入っているんですかね。旧浜田市なのか、旧那賀郡も一緒に入っているのかなというところをお聞きしたいと思います。</p>
教育部長	<p>まず、最後の質問のところから、旧那賀郡の給食センター、三隅の自校式も含めて、浜田市全体での数字となっております。</p> <p>それから数値のところ、実績が86.5%になっておりますが、これが2022年度の調査から県の調査の方法が変わりまして、今までの地域食材利用率というのが、資料6の方の一番上のところにもありますけれども、食品数ベースから金額ベースということに変わりました。</p> <p>そうすると、例えばお米、ご飯を作るお米っていうのは地域のお米を使ったりしますけれども、そういうところの部分で単価が高いもので言えば、当然その部分が、給食費の食材費の中の、ウエイトが大きければ、金額ベースで言えば率が高くなるということで、食品数ベースとなりますとそれはあくまでもお米というのは1カウントになるわけですので、そういうような関係のところ、2022年度の金額ベースにすると、浜田市の地域食材利用率は大きくなるというところがあります。70%から80%と目標値も改正させていただき、そういうような形で2022年度の86.5%は、かなり頑張った数字だと思います。そういうようなところで、金額的に変更になったかなというようなところでございます。</p>
宮本委員	見直し前の2022年が70%で、見直し後の2022年が80%ということは、2022年はもう終わって、昨年のことなんですけども、それを見直しされたという形なんですか。遡っての見直しですか。
教育部長	2022年度のところから、数値の調査の方法が変わりましたので、その調査の変更のタイミングに合わせて目標数値の変更させていただいたというところですよ。
会長	はい、その他にございますか。
森脇委員	失礼します。資料4 32頁、33頁の「観光・交流の推進」主要施策1、2のところですが、「23 観光入込客数」と「24 宿泊客数の増加」の評価がB、Aなんですけど、どこを目標値にもっていくかという部分もあるんですけど、これ見ると

	<p>観光客の増加はB、宿泊客の増加はAということは、比較的になにかその宿泊をして、言ってしまうと、外貨を落としてくれるお客さんが多いのかなというふうに見えてしまうんですが、そういう解釈なのか。それか、これ自分のイメージという数字はないんですけど、結構浜田っていうのは、ビジネス客の人とか、或いは火力発電所関係なんか工事なんかが入った際に、結構宿泊所が工事関係者で埋まっているようなこともあると思うんですが、ここがどういうふうに関連しているのか。</p> <p>今言ったように、観光客数の増加に対して、宿泊客数の増加がいい評価が結構宿泊客が増えているような理解でいいのかということをお聞きしたいです。</p>
産業経済部長	<p>まず、23の観光入込客数につきましては純粋に浜田に来ていただいた人数。日帰り、宿泊客もあります。当然コロナの影響もありまして、目標値を下回っている状況です。</p> <p>この宿泊数の増加につきまして、先ほど指摘頂きました観光客だけじゃなくてビジネス客、そういったことが含まれています。そういった中で中国電力三隅発電所の関係の工事関係者とか、その他ビジネス客、そういったことで、昨年、一昨年については特にその中国電力さんの工事のピークを迎えまして、それと一号機定期点検重なりまして、一昨年4月ごろ過去最高の宿泊客数を記録したこともございました。</p> <p>昨年につきましては、工事も少なくなっておりますけども、やはりビジネス客の宿泊数多いということで、増加をしているということです。</p>
会長	よろしいですか。
森脇委員	ありがとうございます。なかなか宿泊客数の内訳を調べるのは難しいと思うんですが、より良いように評価ができるので、もし必要であればまた、何ていうか、集計方法とか、ちょっと踏み込んで調査をするとかいうことも、ご検討いただければと思います。
会長	観光施策を考えていくために必要であれば、それはすぐということになるでしょうし、この総合振興計画に関して言えば、一応決めたやり方でさせていただきたいというふうに思います。
村井委員	<p>すいません。ちょっと、予約型あいのりタクシーのことについてお伺いしたいんですけど。</p> <p>交通手段の取り組むまちづくり団体はA評価になっているのに対して、利用者の方がC評価になっている。ていうのはちょっと。</p> <p>なぜなのかなと思いつつ、ちょっとあいのりタクシーの利用っていうか、立ち上げるのにこれはまちづくりじゃないと、なかなか立ち上げることができないので、難しい点は多々あると思うんですけど。</p> <p>交通手段はA、あいのりタクシーの利用者がCっていうのは、どういうことかなとお聞きしたいと思います。</p>
地域政策部長	<p>はい。まず、82頁の90番と91番について今、お話があったのかと思います。</p> <p>91番の「予約型乗合タクシーの利用者数」がCになっています。これのことでしょうか。</p>
村井委員	はい。

地域政策部長	<p>予約型乗合タクシーっていうのは、いわゆるデマンドタクシーとかですね、ちょっとあいのりタクシーとはまた別のものになります。</p> <p>あいのりタクシーにつきましては、前段の項目、81頁の一番上辺りのところでちょっと触れさせていただいておりますが、こちらにつきましては、まだ始まってそれほどたっていない制度でございますけども、実は昨年度ですね、結構いろいろな地域で使っていただくようになりまして、地区まちづくり推進委員会のお世話ですね、計画を作って、タクシーを利用させていただくものなんですけど、実は昨年13団体、すでに利用を始めております。</p> <p>ということで1団体あたりですね、年間40万円の上限で行っていたもの、今年度から年間50万円に拡大しております。</p> <p>まだまだ、これから利用を増やしていただけるんじゃないかと思っておりますので、こちらについては、市としても取り組んでいきたいと思っております。</p>
村井委員	<p>はい。ありがとうございました。</p> <p>13団体60件っていうのは、どういう意味ですか。</p>
地域政策部長	<p>まず、13団体が13のまちづくり委員会が取り組まれている、1つのまちづくり委員会で何件か申請を出しておられますので、その申請件数が60件ということになります。</p>
村井委員	<p>1つのまちづくりで1つじゃなくって、何件も出せるっていうことですか。</p>
地域政策部長	<p>はい。このあいのりタクシーというのは、決まったバス停とかですね、コースがあるものではございませんで、例えば買い物に行くのに、何人かで相乗りをして、例えば、商店を幾つか回って帰ってくる。そうした計画を、まちづくり推進委員会で取りまとめていただいて、タクシー会社と交渉してもらってですね。その時の経費を補助金で一部支援するということですので、場合によっては病院に行かれる場合もありますし、また他の時には買い物にみんなで連れだつてということで、1団体、先ほども言いましたが年間50万というのは1回50万じゃなくてですね。何回か利用される中で、年間50万円まで枠があるということでございます。</p> <p>ですので1団体で何回も使えるというものです。</p>
村井委員	<p>1つのまちづくり委員会が、こことここに行くというのも、その団体になるわけですか。</p>
地域政策部長	<p>そうです。例えば一つの団体でもですね、年間に9回計画されたり、そういうところもございます。</p>
村井委員	<p>はい。ありがとうございました。</p>
会長	<p>はい、もうちょっとたっぷり時間を取っておくべきだったという反省をしておりますが、予定時刻を過ぎております。</p> <p>どうしてもという方はご発言ください。</p> <p>はいどうぞ。</p>
岡田委員	<p>すいません。1点ほど。</p> <p>資料4 15頁の三隅地域の「地域資源を活かしたまちづくり」のところで、「150西条柿栽培面積の維持」で、策定時現状値20ヘクタールで、目標値18ヘクタール。2022年度実績値19ヘクタールA評価となっております。</p>

	<p>これは、目標値が下がっていますが、減少目標ということなんでしょうか。それともそうではないのでしょうか。どういう評価をしておられるのでしょうか。お伺いします。</p>
三隅支所	<p>三隅支所の久佐です。</p> <p>この目標につきましては、計画策定時 20 ヘクタールでしたが、計画目標年度の 25 年度に 18 ヘクタールまでの現状で維持していきたい。22 年度は 19 ヘクタールでしたので、現状の維持はできているということで、A 評価になっているということです。</p>
会長	<p>他にもあろうかと思いますが、この度は少し従来よりは早めに資料の調整が整いましたので、少し余裕を持って、皆様のお手元に資料をお届けすることができたかと思います。</p> <p>そういうこともありまして、事前に質問やご意見を頂戴する仕組みとさせていただいております。提出までは至らなかったけど、ちょっと書き留めてきたということもあるかもしれません。</p> <p>そういったのはぜひ、今日この後、事務局に提出をいただいて、それは受け取っていただければというふうに思いますので、そのようにしていただくとして、ちょっと時間がきておりますので。</p> <p>資料 6 の代表的な目標の見直しについても話題になっておりますので、そこまで進んだというふうにさせていただきたいと思います。</p> <p>まだまだご意見あるかもしれませんが、一応これで打ち切らせていただいて、繰り返しになりますが書面でこの後で提出いただくことができるという形がいいですか。</p>
政策企画課長	<p>会長さん。最後、意見の一覧でいただいたものの一番最後、その他のところがあります。これを読み上げさせていただきます。</p> <p>内容は、「今年度からレクスポーツの協会の事務局を担当させていただいていますが、総合スポーツ大会の日程調整や会場調整など、体育協会は全く変わらないことにびっくりしています。」というご意見をいただいております。</p> <p>これに対して、コメントさせていただければと思います。お願いします。</p>
教育部長	<p>教育部の草刈です。回答いたします。</p> <p>総合スポーツ大会浜田市総合スポーツ大会のことだろうと思います。</p> <p>平成 19 年度に第 1 回の開催して以来、総合開会式は全体で、競技大会については各種競技団体が主管として行っております。</p> <p>もともと総合開会式はスポーツの日、10 月の第 2 月曜日を基本として、会場の都合とか皆さんの状況を鑑みて、事務局の方で決定をしておるというような状況で、それぞれの各種団体の競技の大会はそれぞれの段階で期日を決めていただく。会場についても、各種団体の方で決定をしていただく。</p> <p>総合開会式を含めた事務局の方で、県立体育館、もしくは石見武道館のところの会場の用意をするというような形で分担をしております。</p> <p>理由としましては、現在のところ開催競技が 21 競技ございますけれども、また多種多様な種目がございますので、事務局での運営を一手に引き受けるということは、当初のところから難しいという判断があることと、また、団体及び選手にとってもそれぞれの状況に応じて開催される方が望ましいということが、当初の第 1 回のところからそういう話でやってきておりました。</p> <p>そのために事務局の役割、各競技団体の役割というところを整理させていた</p>

	<p>だいておるといのが現状のところでございます。</p> <p>今年から事務局を担われるということで大変お疲れ様でございます。当然、体協の事務局の方にも、そこのノウハウございますので、もしご心配のこととか何かあれば、ご相談いただければ対応したいというふうに担当のところは考えていると思いますので、よろしく願いいたします。</p>
会長	<p>はい。ご説明ありがとうございます。</p> <p>どうしても重ねてのご質問、ご意見がありましたら。</p> <p>もう一度伺います。全体を通して、どうしてもこれは言っておきたいことであれば。</p> <p>(意見なし)</p> <p>そうしますと、本日皆様からいただきました意見については、大幅な修正を要するものは、さほどないように認識をしておりますので、事務局と会長に任せいただいて、資料の修正をさせていただきたいと思ひます。</p> <p>そして、修正が整いました資料は後日送付させていただき、そこで確認をお願いするというにさせていただきたいと思ひますが、よろしゅうございませうでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>はい。認めいただいたとさせていただきます。</p> <p>意見を反映された資料が送付された際には、ご確認等お願いをいたします。</p> <p>続きまして、事務連絡は事務局からお願いいたします。</p>
企画係長	<p>はい。</p> <p>それでは次第にございます「その他」について、2点ほどご連絡させていただきます。</p> <p>まず1点目は、次回の開催を8月下旬に予定しております。日程つきましては、決まり次第通知させていただきますが、内容といたしましては、協働のまちづくり検討部会からの報告と意見交換を予定しております。</p> <p>後日ご案内をさせていただきますので、ご出席下さいますようお願いいたします。</p> <p>なお、資料1の進捗管理のスケジュールの説明にもありました。9月下旬審議会への最終報告。こちらにつきましては、今説明した次回の会議とは違うものを想定しております。次回報告後の修正内容によって審議会の開催、または、開催しない。また最終報告の方法を考えてさせていただきますご案内の方をしたいと考えております。</p> <p>2点目につきましては、本日の委員等報酬等の支払いについてでございます。</p> <p>皆様の机の方に交通手段等確認書というA4 半分の紙を置かせていただいております。こちらに本日の交通手段と出発地をご記入いただきまして、お帰りの際に事務局にお渡しいただくか、机のほうへ置いてお帰りいただきますようお願いいたします。</p> <p>その他の連絡事項は以上となります。</p>
会長	<p>はい。次回の審議会の開催予定等についてご説明いただいたところですが、委員の皆様からご質問、ご意見はございますか。</p> <p>はい。そうしますと、本日の予定は以上となります。重ねてお願いいたします委員の皆様、或いは事務局から何かあればお願いいたします。</p> <p>委員の方から、いいですか。はい。</p>

	<p>皆様のご協力のおかげで、活発な議論をいただき、誠にありがとうございます。</p>
市長	<p>最後にお礼を申し上げたいと思います。</p> <p>本日は、長時間にわたりまして大変活発なご審議をいただきましてありがとうございます。</p> <p>事務局から説明いたしましたように評価方法をABCの3段階に変えました。また評価の基準もですね、整理をさせていただいたところでございます。</p> <p>先ほど文化財のところ、100のままでAなのかというのは、これは評価しないということで、修正をしたいと思います。またいろんな項目につきましてご意見いただきました。今後ですね、その辺も踏まえながら、必要な部分は見直しをして参りたいと思っております。</p> <p>それからコロナで、この3年間いろんな活動ができなかったというのがやはり大きく影響しております。</p> <p>やっとならコロナが落ちついてきたとはいうものですね、実はこの一、二週間、コロナが随分増えてるという。明確な数字ではないんですけども、そういった報告も受けてるところでございます。何とかですね、これまでいろんな活動ができなかった部分、活動してくださいってやってるんですけども、やはり感染対策をしっかりと行いながら、両立するような格好でやるしかないのかなと思っております。</p> <p>それからもう一つ、少子化のところでございます。これ本当に市にとっても大変ですけども、実は国にとっても大きな課題で、いろんな他の県内の市長さんとの話ですね、今とにかくこの少子化が一番大きな、頭が痛い問題で、各自治体、浜田市もそうですけど、様々なことをさせていただいております。</p> <p>しかしながら、このもっと大きなところで言いますとですね、社会の問題とか、それから教育費だとかいろんなものにお金かかるとか、将来の不安とか、これは国がある程度ですね、しっかりとやっていただかないということで、市長会では、しっかりと国の方でやって欲しいというにも、もちろん自治体はしっかりとやるんですけども、各自治体だけでは限界があるということで、今はそういうような動きをしているところでございます。</p> <p>まだまだコロナ感染のところ、人口関係のところ、大きく、未達のところがありますけども、引き継ぎ、頑張っ参りたいと思います。</p> <p>どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>ありがとうございました。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>司会進行不手際がございまして、お詫び申し上げます。</p> <p>ご協力のおかげで活発な議論になったことを喜んでおります。</p> <p>それでは以上をもちまして審議会を終了いたします。</p> <p>お疲れ様でした。</p>

(午後 8 時 20 分閉会、所要時間 1 時間 50 分)